

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
4-②	商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する		産業振興部、都市整備部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
魅力化実施店舗数 (累計)	店舗	10	18	31			50
商店街団体等主催・共催のイベントの来場者数 (年間)	人	115, 400	105, 607	92, 997			116, 000
関連事業							
○商店等魅力アップ推進事業○商店街にぎわい創出事業○見附台周辺地区整備事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費 (千円)	7, 190						
執行率 (%)	83. 28						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●伝統的な技術や独自のサービスがある店舗を「匠の店」として認定するとともに、体験事業やパンフレットの作成により、個店の魅力をPRしました。また、個店アドバイザーの派遣や「平塚逸品研究会」の取組支援をはじめ、商工会議所等と連携して商業経営セミナーを開催することで、個店の魅力づくりと経営強化を促進しました。 ●商店街アドバイザーを派遣し、商店街が抱えている課題の改善や販売促進事業の企画立案等の経営支援を行いました。各商店街の販売促進活動を支援することで、中心商店街や地域商店会のにぎわいを創出しました。また、中心商店街では、個店の魅力を伝える「駅近キラ☆キラ商店街」及び「まちゼミ事業」への実施支援と合わせて、売り場環境の改善やバリアフリー化、休憩設備設置等に係る店舗改装費を補助することで、商店街の活性化を促進しました。 ●見附台周辺地区の整備について、平成 27 年 3 月に公表した方向性に沿った整備事業の具現化に向けた検討を進め、改訂整備方針を策定しました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●「匠の店」などにおいて、商品以外の価値を提供できる店舗づくりを進めることが必要です。 ●中心商店街は、大型商業施設との差別化を進め、集客や購買につながる活動に取り組む必要があります。また、地域商店街では、地域コミュニティの担い手の一つとして顧客との信頼関係を構築するとともに、地域に密着した取組を進める必要があります。 ●見附台周辺地区の整備について、事業費の縮減及び、事業者の参入意欲を高めるための検討が必要です。	●個店の魅力を高めるため、経営支援等を行うアドバイザーを派遣するとともに、消費者ニーズに対応し、経営合理化を促進するセミナー等を開催します。 ●中心商店街や地域商店街の活性化を促進するため、販売促進事業や地域コミュニティ事業を支援します。また、個店の魅力を市民や来街者に伝え、顧客につなげるまちゼミの実施など充実することにより中心商店街の活動を支援します。 ●見附台周辺地区を多くの人が集まる複合交流拠点とするとともに、より広く事業者を募集するための要求水準書を平成 29 年度に作成し、事業者の選考に向けた手続きを進めます。